

令和 4 年度 小林市立野尻中学校 学校関係者評価書

4 段階評価 4 期待以上 3 ほぼ期待どおり 2 やや期待を下回る 1 改善を要する

学校経営ビジョン	「自立と自律」「感謝」「貢献」をスローガンに、学校・家庭・地域が一体となって 活力ある教育活動を推進することにより、学校教育目標の具化を図り、信頼される学校づくりに努める。
----------	----------------------------------------------------------------------------------------

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	結果の考察・分析 (○) および改善策等 (◇)	自己 評価	関係者 評価	学校関係者評価のコメント
知 育	重点目標： 授業力の向上と学力の向上。	1 について ○ 全職員で共通理解を図りながら、共通実践及び授業改善を図ることができた。	3.2	3.3	○ 授業改善が子どもたちの学力向上に繋がるよう今後ともお願いしたい。 ○ ICT ありきの指導ではなく、特にコミュニケーションについては本質を見失わないように指導してほしい。 ○ 生徒のアンケート結果から、ICT を活用した授業が生徒に浸透し楽しく取り組んでいるのが感じられる。 ○ ICT の効果的な活用についての更なる研究をお願いしたい。 ○ キャリア教育の実施については、家庭や地域と連携し、体験的な学習を重視すると文科省でも提言されている。コロナ禍でも実施している学校もあるようです。今後に期待したい。 ○ いろいろな仕事があることを知ると興味が湧いてくるのではないか。 ○ 英語検定や漢字検定、検定取得向上に生徒がしっかり頑張っている。素晴らしい。 ○ 生徒のアンケート結果から、数・英の教科は、好き嫌いがはっきりしているようだ。
	手段： 1 年 1 回の研究授業と相互参観授業の積極的な実施。	2 について ○ ICT 活用については、可能な単元において全職員が積極的に活用できた。より効果的な学習が可能となった。 ◇ タブレットPC及び使用アプリの扱い方等についての研修をさらに深めていく必要がある。また、家庭学習の充実とリンクさせていく必要がある。			
	2 ICT 活用や生徒指導の三機能を生かした授業実践と家庭学習の充実に向けた支援。	3 について ○ 各学年の発達段階に応じて、計画的に進めることができた。 ◇ 将来の夢や目標について描こうとする力に個人差がある。特に、1・2年生の進路意識が低い傾向にある。 ◇ キャリアパスポートの活用を促進し、進路意識の向上を図る。			
	3 キャリア教育の充実と主体的な学習態度の育成。	4 について ○ 英語検定を延べ 104 名が受験（3 回受験）し、1 年生 17 名、2 年生 30 名、3 年生 17 名が準 2 級～5 級に合格。（合格率 62%） ○ 漢字検定を述べ 143 名が受験（3 回受験）し、1 年生 17 名、2 年生 22 名、3 年生 25 名が準 2 級～5 級に合格。（合格率 45%） ◇ 各種検定を継続推進する。			
	4 英語検定・漢字検定などの検定取得率向上。				

<p style="text-align: center;">徳 育</p>	<p>重点目標： 心の教育と生徒指導の充実。</p> <p>手段： 1 全教育課程を通しての人権教育の充実。 2 教育相談、いじめアンケートなどの活用と不登校傾向の生徒に対する支援の充実。 3 読書活動、各種コンクール等への積極的な参加。</p>	<p>1について ○ 全教育課程を通して人権教育の充実を図ることができた。道徳科の授業については、全職員で指導に当たるなど実施率 100%である。また、コロナ禍の影響でリモートでの開催となったが、生まれつき「網膜色素変性症」という難病で視覚障がい者となった外部講師を招き「今まで受けたサポートで感動的だった経験、残念だった経験」「障がいを持つ者として、みなさんへ伝えたいこと」等について講話をいただいた。自分や他者の人権について振り返るよい機会となった。</p> <p>2について ○ 毎週「生徒理解」の時間を設定し、全職員で共通理解を図った。関係機関等にも相談し、協力を得ながら不登校及び不登校傾向の生徒の解消に努めたが成果が得られなかった。 ○ 学校生活アンケートを毎月実施し、実態把握に努め教育相談も定期的に行った。現在いじめは「ゼロ」と認知している。 ◇ 生徒からのSOSを見逃さないよう、全職員でアンテナを高くして気を配っていきたい。 ◇ 引き続き、諸機関の協力も積極的にお願いしながら粘り強く解消に努めたい。</p> <p>3について ○ 年間 4,000 冊の貸し出しを目標に掲げていたが、現在、約 3,300 冊で目標達成には至っていない。短歌と詩を中心に宮崎日日新聞こども新聞への投稿に取組、多くの生徒の作品が掲載された。また、市の読書感想文コンクールにおいて、市長賞及び議長賞を受賞した。</p>	<p style="text-align: center;">3.1</p>	<p style="text-align: center;">3.1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳科の授業を「真剣に思いやりの気持ちをもって」と考えている生徒が9割と高く、先生方の指導に感謝する。 ○ 人権教育は、今後も全職員で指導していただきたい。 ○ 人権教育は、昔に比べ難しくなっているように感じます。 ○ ボランティア等（社会との繋がり）で今の小さな世界や視野が広がり、刺激になっていくと思う。 ○ 不登校生徒への声掛けを諦めずに続けてほしい。 ○ 不登校生徒が多いと感じる。難しい問題だが当事者だけではなく、PTAや地域全体で考えてもよいのではないか。 ○ 視野を広げるため、本を読むことの大切さを生徒に伝えてほしい。 ○ 読書の貸出しがもう少し増加するよう改善をお願いしたい。 ○ 多くの本を読むことは、知識を得るだけでなく、他者の考え方なども知ることができる。また、感想文を書くことで表現力も向上する素晴らしいものであることを生徒に伝えてほしい。 ○ 市のコンクールや新聞投稿など素晴らしい。これからも積極的な参加を期待したい。
--------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------	----------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

体 育	<p>重点目標： 体力の向上と健康安全の充実。</p> <p>手段： 1 体力向上プランに基づく体力向上。</p> <p>2 健康管理能力の向上、虫歯治療率・肥満率の改善。</p> <p>3 安全教育、防災教育、避難訓練等の充実、安全意識の高揚と危険回避能力の育成。</p>	<p>1について</p> <p>○ 新体力テストの結果を踏まえ、落ち込んでいる体力の要素を向上させるためのトレーニングメニューを作成し、取り組ませることができた。また、体育の授業では、準備運動としてブラジル体操を取り入れたり、運動領域によっては補強運動を取り入れたりしながら体力向上を図ることができた。部活動においても、それぞれの運動の特性に応じた体力の向上及び競技力の向上を図ることができた。その成果として、多くの部活動が県大会出場を果たした。</p> <p>◇ 来年度も継続して個に応じた体力向上プランを立て、実践させる。</p> <p>◇ 保健体育の授業以外で生徒会や保体委員会、部活動と連携した体力の向上や競技力の向上に努める。</p> <p>◇ 立腰については、各授業の始めや終わり、集会等での継続指導が必要である。</p> <p>◇ 全職員で日頃からどのような場面でも立腰の定着が図られるよう指導を徹底していく。</p>	3.3	3.8	<p>○ 中体連では、多くの部活動が県大会に出場した。今後も期待したい。</p> <p>○ 虫歯治療率90%は素晴らしい。100%をめざしてほしい。</p> <p>○ 健康のためには、美味しくよく噛んで食べる必要があるので、家庭と連携し、虫歯治療率100%をめざして欲しい。</p> <p>○ 生徒のアンケート結果から、体力テストの活用（工夫）について、一考あるのではないか。</p> <p>○ いろいろな取り組みをされていて素晴らしい。</p> <p>○ コロナ禍でも訓練を4回実施したことは高く評価できる。子どもや先生方の命に関わることなので、今後もしっかりと訓練・指導をお願いしたい。</p> <p>○ いろんな訓練を受けているので、いつか遭遇した時に適切な行動ができると考える。</p> <p>○ 安全教育、防災教育、避難訓練等、役割分担を明確に示されていると思われるが確認をお願いしたい。</p>
	<p>2について</p> <p>○ 養護教諭を中心に個別指導や家庭との連携を図り、虫歯治療率が90.8%、肥満度8.6%と数値目標としていた虫歯治療率90%以上、肥満度10%以下を達成できた。健康への意識は高まってきた。</p> <p>◇ 来年度は集団指導や個別指導、家庭との連携を通して、虫歯治療率100%をめざす。</p>				
	<p>3について</p> <p>○ 本年度は、火災・地震・災害・不審者を想定した避難訓練を計4回実施した。火災想定での訓練では「濃煙体験」を実施した。実際に体験したことで、煙の怖さを実感した生徒が多く有意義な訓練となった。</p>				

食育	重点目標： 食育の充実。	1について ○ 朝食摂取率は97.0%で、完全摂取とはならなかった。 ◇ 保健主事からの「保健だより」の配付や個別指導等を通して、今後も朝食の完全摂取をめざす。	3.4	3.7	<ul style="list-style-type: none"> ○ 97%でも立派だと思いが100%をめざしてほしい。 ○ 飽食の時代、給食の残食0は素晴らしいと思います。 ○ 食育の中で「みんなで食べること」や「会話しながら楽しく食べること」は心身の発育・発達にも少なからず影響があると思います。早く楽しく給食が食べられることを望みます。 ○ 朝食を摂取できなかった原因を把握し、改善を図ってほしい。 ○ 高齢になってからの「食」の大切さについても理解させてほしい。 ○ 「食」を通して自身が元気に過ごすことができていることに感謝してほしい。 ○ 残食ほぼ0さすがです。
	手段： 1 朝食の完全摂取。	2について ○ 弁当の日は、生徒に取組み方のコースを選択させ、2回実施した。また、給食感謝週間を設定。外部講師を招き「食べ物の大切さ」「健康のありがたさ」「食に関わる多くの方々」等について講話をいただき、感謝して食べることや食を大切にする気持ちをもたせることができた。 ◇ 引き続き、年間2回の弁当の日を主体的、計画的に指導、実施できるように家庭と連携していく。 ◇ 来年度も外部講師と連携して、食育を推進する。			
	2 「弁当の日」の取組の充実と感謝の心や豊かな食習慣の育成。	3について ○ 残食率は野尻中学校区で0.3%、本校においてはほぼ0で目標としていた残食率10%以下を達成できた。 生徒会のNSDGsの取組の成果と考える。			
その他	重点目標： 保護者や地域、野尻小及び栗須小との連携の推進。	1について ○ 小中合同の研修会等を概ね計画通り実施できた。 ◇ 今後も小中合同研修会等の充実を図る。 ◇ 簡略化できるものは、改善を図る。	3.0	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本年度もコロナ禍での学校生活で生徒も苦労した1年間であった事と思います。私たちも学校行事の発表会等中止になり、生徒と直接会話する機会もなく、寂しく感じた1年でした。 ○ コロナ禍が続く中で学校関係者として学校行事に参加できず、学校内での生徒の様子は計り知れませんが、登下校の様子を見る限り良好な学校環境を感じます。
	手段： 1 小中合同による研修会等の充実。	2について ○ 学校だよりや学級通信等の定期的な発行、ホームページの更新を通して、積極的に外部への情報発信ができた。 ◇ 今後も積極的に学校情報公開を進めていく。			
	2 学校の情報発信。	3について ○ 目標の月当たりの時間外勤務時間80時間以上の職員ゼロを達成できた。			
3 効率的な業務の推進を図る。					

次年度の方向性についての校長所見	<p>新型コロナウイルス感染症防止対策により、学校行事等制限されたものもあったが、保護者をはじめ、地域の皆様や関係諸機関のご支援、ご協力をいただきながらできることに取り組み、野尻中学校の教育目標及び学校経営ビジョンの実現に向けて教育活動を行うことができた。次年度は、さらに充実した取組ができるように本校の教育的課題の解決に向けて努めたい。特に、学力向上を図るための授業改善、思いやりの心を育みいじめや不登校0に向けた具体的な取組を進めていきたい。</p>
------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------